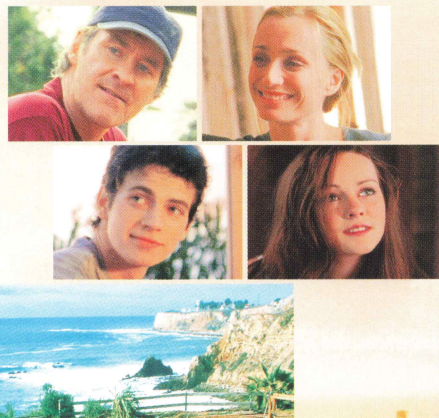


死ぬことは恐くない。ただ一緒に、家を建てたいんだ。

突然の死の宣告。残された時間は3ヶ月  
父の最後の望み—  
家族の離れた心をつなぎとめたのは  
手造りの家だった。

# 海辺の家

*Life as A House*



※第59回 ゴールデン・グローブ助演男優賞ノミネート[ヘイデン・クリステンセン] ※本年度ナショナル・ボード・オブ・レビュー躍進演技賞受賞[ヘイデン・クリステンセン] ※第14回シカゴ映画批評家協会助演男優賞ノミネート[ヘイデン・クリステンセン]  
ニューライン・シネマ提供 アーウィン・ウィンクラー作品 ケビン・ワグラー クリスティン・スコット・トーマス "LIFE AS A HOUSE" ヘイデン・クリステンセン WITH ジーナ・マローン  
AND メアリー・ステイーンバーゲン キースティン・サラ・ハレー・フィン、C.S.A. ランディ・ヒラー-C.S.A. 衣裳デザイン モリー・マギニス 音楽 マーク・アイシヤム 編集 ジュリー・モントロー プロダクション・デザイン デニス・ワシントン  
撮影 ヴァイルモス・ジグモンドA.S.C 製作総指揮 リン・ハリス マイケル・デルカ ブライアン・フランキッシュ 製作 アーウィン・ウィンクラー ロブ・コーワン 脚本 マーク・アンドラス 監督 アーウィン・ウィンクラー  
オリジナル・サウンドトラック:カルチュア・パブリッシャーズ 特別協力:朝日新聞社 配給:日本ヘラルド映画 [www.umbenoe.jp](http://www.umbenoe.jp)



# ただ好かれないんじゃない。愛されたかったんだ。

# 海辺の家

Life as A House

全米で女性達の圧倒的な支持を受け、さわやかな感動で包み込んだ話題作「海辺の家」が、いよいよ日本に上陸します。余命わずか3ヶ月と知ったとき、あなたなら何をしますか？「死」というものを受け入れ、そして残りの人生に正面から向かい合う——人生につまずいても、それをもっと素晴らしいものに変えていこうというメッセージを率直に投げかけてくれる作品です。

これは死を目前にした父親が、ばらばらとなった家族と共に人生を建て直すかのように、手造りの家を建てる物語。反抗する息子、心が満たされない母親、愛を求めてやまない隣の家族…。傷だらけで手探りの生き方であるが故に、愛と思いやりに満ち溢れたこの家に皆が集まってくる。その優しくも切ない物語は、あらゆる世代の胸に訴えかけ、誰もが共感せずにはいられません。



## 私は自分を“家”と思ってきた “家を建て直す”——それは即ち“人生を建て直すこと”

ジョージ・モンロー42歳。建築事務所デザイナー。彼には既に別の人と再婚している元妻ロビンと16歳になる反抗期の息子サムがいる。ある日彼は20年間勤めてきた建築事務所をいきなり解雇され、その上残りわずか3ヶ月の命と宣告される。このまま死んで悔いはないのか、自分の人生は一体何だったのか…。ジョージは初めて自分の人生に、そして息子サムに向き合う決意をする。最後の夏、一緒に家を建てる事で……。ドラッグに溺れ、激しく抵抗するサムを無理やり連れ出し、ジョージは海辺に家を建て始める。近くに住む、幼なじみだったアリッサとその母親コリン、息子サムを心配して見に来るロビンと彼女の二人の子供、そしてロビンの夫。ジョージをとりまく人々が、知らず知らずのうちに加わっていき、そしてそれぞれが、心にぽっかりと空いた穴を「家を建てる」ことによって埋めていく。そして皆の想いがひとつになる一方で、ジョージの容態は確実に悪化していった…。残された時間はあと、わずか。そして「海辺の家」の完成は近い――。

## 珠玉のスタッフ・キャストで贈る この夏一番の、“涙、涙”の感動作

主人公の建築家ジョージ・モンローを演じるのは、アカデミー賞受賞経験を持つケビン・クライン。ウィットの効いた演技で、人生のどん底を味わいながらも前向きで優しい男を見事に演じました。またジョージを温かい目で見守っていく、別れた妻ロビンを演じるのは、イギリス出身のクリスティン・スコット＝トーマス。さらに本作で最も注目なのは、息子サムを演じるヘイデン・クリステンセン。「スター・ウォーズ エピソード2/クローンの攻撃」でアナキンスカイウォーカーに大抜擢されて世界中の注目を集める彼は、彼のキャリアの2作目として、役者の実力が大いに問われる「海辺の家」を選びました。そして思春期の怒り、とまどいを見事に演じきり、本年度ナショナル・ボード・オブ・レビューで躍進演技賞を獲得しました。また本作は、「恋愛小説家」の心の琴線に触れる脚本でアカデミー賞にノミネートされたマーク・アンドラスのオリジナル脚本を、12のアカデミー賞に輝くアーウィン・ウィンクラーが監督。撮影監督は「未知との遭遇」でアカデミー賞を受賞したヴィルモス・ジグモンド。そして「リバー・ランズ・スルー・イット」でアカデミー賞にノミネートされたマーク・アイシャムが音楽を担当し、太平洋海岸特有の眩しい雰囲気と感情の盛り上がりを一層ひきたてています。

ケビン・クライン（「ワンダ&グレイ」と優しい、娘ら」アカデミー賞助演男優賞受賞）  
クリスティン・スコット＝トーマス（「イングリッシュ・ペイシェント」アカデミー賞主演女優賞ノミネート）  
ヘイデン・クリステンセン（「スター・ウォーズ エピソード2/クローンの攻撃」）  
監督・製作：アーウィン・ウィンクラー（「ロッキー」アカデミー賞最優秀作品賞受賞）  
脚本：マーク・アンドラス（「恋愛小説家」アカデミー賞脚本賞ノミネート）  
配給：日本ヘラルド映画 / www.herald.co.jp  
上映時間：2時間6分 / サントラ盤：カルチュア・パブリッシャーズ / 特別協力：朝日新聞社

www.umibenoi.jp